



▲水槽の中のイカの卵を観察する親子

「第1回ふくつのイカフェア」inイオンモール福津 初めて見るイカの卵に興味津々

宗像漁業協同組合津屋崎支所、九州大学水産実験所、福岡県立水産高校、一般社団法人福津いいざい、福津市が共働するふくつのイカフェアが4月27日から5月6日までイオンモール福津で開催されました。

期間中は、イカの天ぷらやアヒージョの販売、漁師体験、大漁旗とミニ船舶との写真撮影など玄界灘で取れる新鮮なイカの魅力を多くの人に知ってもらう企画が用意されていました。普段見ることがないイカの卵の実験展示に、虫眼鏡を使って真剣に観察する親子の姿もありました。



▲木漏れ日が差し込む自然歩道を歩く参加者の皆さん

宮地嶽自然歩道トレッキング 2つの山の頂を目指して

一般社団法人ふくつ観光協会が主催する「宮地嶽自然歩道トレッキング」が5月11日に開催されました。参加者の中には、厚手の靴にリュックサックを背負い、山登り用の杖を持った本格的な装備で参加する人もいて、黄色いジャンパーを着た観光ボランティアガイドとともに宮地岳から在自山への縦走を楽しみました。

まず、宮地嶽神社を散策した後、勾配の緩やかな自然歩道を進んだ参加者の皆さん。時折訪れる坂道や段差に苦しみながらも、展望所からの眺望を楽しんだり、山の涼しさ・気持ち良さを満喫していました。

第9回 福津市消防団消防操法大会 訓練で鍛えた技術を披露

市消防団では、消防活動に必要な心・技・体の基本を養い、消防団員自身の安全を確保しながら消防活動を行うため消防ポンプ操法の訓練を行っています。その日々の訓練の成果を発揮する消防操法大会が5月19日に福間漁港多目的広場で開催され、11の分団が士気の高さや、迅速で確実な動作ができていかなどを競いました。

7月28日に行われる宗像地区消防操法大会に駒を進めたのは第11分団、第7分団、第10分団。優勝した第11分団の櫻井和隆指揮者は「地区大会でも優勝したい」と次の大会への抱負を語っていました。



▲ホースを抱えて懸命に走る第11分団の消防団員

なまずの郷で恒例のイベント開催 シャボン玉に大はしゃぎ

なまずの郷の春の恒例イベント「パレット・ピクニック」「ニコニッ子広場」が4月27日に行われました。バンドの演奏やアート作品の展示、おもちゃ交換などのイベントの他、手作り雑貨やキッチンカーなどの出店もあり、多くの家族連れが訪れていました。

芝生広場で行われたシャボン玉ショーでは、パフォーマンスによって大きささまざまなシャボン玉が作られる度に、大人も子どもも大はしゃぎ。風に乗ったシャボン玉を追いかけていく姿も見られました。



▲たくさんのシャボン玉でにぎわう会場

建設予定地で新福津消防署新築工事の起工式 安全な施工と完成を願い

新福津消防署新築工事の起工式が5月8日に手光区内の建設予定で行われました。式には、手光区自治会長や市議会議員、施工業者の皆さんが出席し、災害や火災の発生が少なくなることや地域の安全・安心が一層確保される消防署となること、無事に完成することを願っていました。



▲新築工事の安全を願う参加者

空き家等古民家の利活用促進包括連携調印式 空き家問題の取り組みを推進

一般社団法人福岡県中央古民家再生協会、津屋崎空き家活用応援団、福津市の3者は、空き家問題の取り組みを推進するため、民間の有する知見や情報、ノウハウ、ネットワークを生かす、包括連携協定を5月1日に締結しました。今後も、津屋崎千軒・豊村酒造を核とした地域活性化に取り組んでいきます。



▲締結した協定書を見せる各代表者



園田 蜜ちゃん
宮



松尾 和真ちゃん
宮



高野 雅棋ちゃん
津



後藤 翠ちゃん
津

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を市子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限ります。データの持ち込みは受け付けられません。



毎号先着24人で、9月生まれの赤ちゃんは7月18日(木)が受付期限です。

受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとぴあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム

